

或凡人

彼がそれを為し終えたとき
人々は総立ちになって叫んだ 「ブラヴォー！」
熱狂は熱狂を呼び、人々は酔いしれた
何に対してかと言えは、己の雄叫びに
そして他人の興奮によって確かめられた己の眼識に
人々は互いに抱き合って涙した
「どうです、素晴らしいじゃないですか」
「そうですとも、私の眼に狂いはなかった」
彼はと言えは、その大騒乱を呆然と見つめていた

そしてその渦巻く自己陶醉は彼のもとになだれ落ち
彼は人々に何度も胸上げされた
「天才だ、天才だ、天才だ」
彼は空中で泣いていた、嬉し泣きじゃなかった
「僕は天才なんかじゃない・・・」

(1982.11.8)